

野党統一候補は共産党支持候補

「野党と市民の共闘」…でも「共産党の正体」を知っているの?



▲コミニテルンの父・レーニンは少数派から暴力革命で臨時政府を倒した

1917年のロシア革命を指導したレーニンは「金持ちを皆殺しにして、世界中の政府を暴力で転覆せよ!」とコミニテルン(国際共産党)を組織。その「日本支部」として誕生したのが、実は日本共産党です。

ロシアでは、皇帝を追放した2月革命に行われた選挙では2割しか議席を獲得できなかつた少数党(ボリシェビキ)のレーニンは、連立政権に入りながら政権を潰す工

●日本共産党の生みの親 旧ソ連の場合

「歴史的合意」と共産党が自賛した「野党統一候補」誕生と「民立共闘」。実際は民主党から民進党、さらに立憲民主党と看板を書き換えても支持率が上ががらぬ所に、共産党がすり寄つた苦し紛れの「相乗り作戦」にはなりません。

かつて民主党政権で外相を務めた前原誠司衆院議員(国民民主党)は「シロアリみたいな者と協力したら土台が崩れる」と「民共合作」に警鐘を鳴らし立憲と袂を分かち

参院議員の質問に、「共産党は『暴力革命の方針』に変化はない」と答えた。しかし立憲民主党も一定数を保持する共産党勢力は魅力で、政府方針に反対するために共産党と「野党連合」をつくり、国会で

ました。しかし立憲民主党も一定数を保持する共産党勢力は魅力で、政府方針に反対するために共産党と「野党連合」をつくり、国会で

●「シロアリ共産党」に食われる立憲
「庇借り母屋取る」常套手段

ました。しかし立憲民主党も一定数を保持する共産党勢力は魅力で、政府方針に反対するために共産党と「野党連合」をつくり、国会で

●「民共合作」の本家本元
中国の場合

作を展開。ついには暴力革命を起こして臨時政府を潰し、共産党による独裁国家にしたことは歴史的事実なのです。

ソ連生まれの日本共産党がソ連崩後に自指したのは中国でした。直近では志位和夫委員長が人權压抑から習近平指導部の党創立10周年を批判。しかし中国は建国以来70余年続く共産党一党独裁国家で、実は日本共産党の「志位執行部」が21年も「独裁」状態が続いている。

さてコミニテルン中国

支部の毛沢東は、「敵(日本)の敵(国民党)は味方」と国民党の蒋介石(総統)を拉致・脅迫し、「国共合作」のスローガンの下で、共

は新型コロナウイルス対策など重要な法案審議もそつちのけで、政府与党の揚げ足取りに躍起です。そんな「立共共闘」に、一般市民や支持母体の労組「連合」からも「大丈夫か?」との声も…。いえ、大丈夫なわけはありません。共産党が世界中で行つてきたことはその「負の歴史」が証明しています。世界初の共産革命を成功させた旧ソ連(ロシア)や中国では、党勢力の弱小时は牙を隠し大勢力と共に闘してその庇護を受け、その間に相手の屋台骨を食い潰す。いわば「庇借り母屋を取る」(軒先を借り家を丸ごと奪う)というのが、共産党の常套手段なのです。



●「平和の党」とは眞っ赤なウソです! 「破防法調査団体」と閣議決定

日本共産党は自ら「平和の党」と宣伝していますが、果たしてそうでしょうか? 彼らの本当の姿を知ることは、「野党と市民の共闘」を掲げて「民共(立共)」協力関係を結ぶ立憲民主党(支持者)の皆さんももとより、日本の将来にとっても重大な問題です。

今年6月11日、政府は鈴木宗男

に「山村工作隊」等を組織し、全国で武装闘争を展開。彼らを取り参院議員の質問に、「共産党は『暴力革命の方針』に変化はない」とし、「破防法(破壊活動防止法)調査団体である」と2015年に続き閣議決定。共産党の知られざる実態が改めて確認されました。共産党は、昭和25(1950)年に「山村工作隊」等を組織し、全

縮まる「破防法」が制定され、以来、70余年にわたり共産党はその正体を隠そうと厚化粧しされていました。この共産党の偽装工作に惑わされないよう、「注意ください! 調査対象団体でした。

